

内郷で問題化した 女先生の洒落

村落も程度を越すな 村長から厳達

内郷村では十八日午前九時五分、村大變遷を憂ひ、
より同村議事室に於て急遽に白粉代をねだる。後
経済緊縮執行委員會議を開き、此の點を校
時間期限の履行、婚儀議長を通じて充分注意すべ
き事、年賀贈禮その他意見を出した。この
件を附議したが、會議終了後、野木村長も同感なりとし、近
後座談會に移り種々時事論、報告の徹底を期する事
や緊縮に關する批評に移る。なつたが
や或る委員が委員長野木村
長に對し緊縮
節約の二句は昭和聖
代の玉言の様に口喧しく叫
ばれて居るが小学校の子供
達には何ら益もない。何
なみのみか却て最近では
華に流れる風がある。重
なる原因は最近内郷村に於
ける女教師が餘り華美に流
れて来た結果である。化粧
女の身のたしなみで或る程
度は止むを得ぬが、脂粉の
如き衣装をして清浄な教壇
に立ち、この「節約」の言
が「節約」の言が「節約」
が「節約」の言が「節約」

貧者へ白米

母の遺言で寄附

石城郡四倉町原田村吉氏は、
母の遺言で寄附
石城郡四倉町原田村吉氏は、
母の遺言で寄附
石城郡四倉町原田村吉氏は、
母の遺言で寄附

年賀特別郵便で 平局の御注文

成る可く早く出す様

平郵便局では年賀郵便の特期間中は非常に幅狭するの
別取扱ひ方、就ては昨午年賀郵便局では左記各項御登
録規則を改正し十二月二十考の上可成御早、差出され
ばより取扱ふ事となり五日人事を希望して居る。
間の短縮を求むる。為め一、猶別取扱ひなす年賀郵

緩和された特融金の處分 鈴木縣議の感謝の演説

縣議鈴木長三郎氏は昨十七日銀行は其のために整理上二
日の縣會に於いて日本銀行大困難を感じ更生途上に於
て福島支店の特融金方法緩和の經濟界の支障たらんとす
和問題演説をなし小柳知事形勢に立至つたため鈴木
事、金森内務部長、野上商議議長はじめ政友會議員諸君
工課長並に宗像日銀支店長先づ謝辞してこの緩和策を
に對し熱誠を以て感謝の意を述べた。演説中、鈴木長三
を述べた。この事は本縣經濟演説中にあるが如き對策を
を述べた。この事は本縣經濟演説中にあるが如き對策を
を述べた。この事は本縣經濟演説中にあるが如き對策を

片濱のぞき

師走の濱の情景

金解禁、緊縮、不景氣等開化されて居ることも一名
の一方は東として年賀郵
便と表示をして郵便局へ
お持ち下さること
三、小數の場合には封筒に納
め、中に入れてお送りな
す。又、お札は紙幣とし年
賀郵便と記載してポスト
に入れてお送りなす。差支なき
事

石城養蠶家の 五日會

來春に發會式

石城郡に於ける蠶糸界は近
年長足の進歩をなしたが最
近平町に片倉製絲場の設立
を見、郡に養蠶家の進路は
多難となつて来た。此際、
郡に同郡立蠶業校出身者
は結束して一途邁進する
こととなり新入永山直雄、
田太郎、廣井將之、緒川良
美、志賀久壽比等發起とな
し、注目の的となつて居る。

金融も硬塞し 貯金も出る一方

平町暮の金融界

平町地方は歳末に於て金融も其の硬塞し、原因は
金融も硬塞し、原因は
金融も硬塞し、原因は
金融も硬塞し、原因は

西山重役が來て 正式に回答

平町の電燈問題

平町の電燈料値下要求に對する西山重役の
西山重役の來り
西山重役の來り
西山重役の來り

出願減る 炭鑛界の福音

炭鑛界の福音

平町の電燈料値下要求に對する西山重役の
炭鑛界の福音
炭鑛界の福音
炭鑛界の福音

平町の現在人口は 本籍寄留が多い

町役場現在調査

平町に於ける本年十一月現行調査による人口は
町役場現在調査
町役場現在調査
町役場現在調査

四倉港懸費支辨 諮問案を提出

本郡政友議員から 知事に會見陳情

石城郡沿岸の重要な漁港と云ふ四倉港は、
知事に會見陳情
知事に會見陳情
知事に會見陳情

鹽小賣組合 四倉立木公賣

明二十日に執行

四倉町役場では明二十日執行
鹽小賣組合
鹽小賣組合
鹽小賣組合

鶏を盗む

鹿島村の忠治

鹿島村の忠治
鶏を盗む
鶏を盗む
鶏を盗む

四倉立木公賣

明二十日に執行

四倉町役場では明二十日執行
四倉立木公賣
四倉立木公賣
四倉立木公賣

本籍寄留が多い

町役場現在調査

平町に於ける本年十一月現行調査による人口は
本籍寄留が多い
本籍寄留が多い
本籍寄留が多い

出願減る 炭鑛界の福音

炭鑛界の福音

平町の電燈料値下要求に對する西山重役の
出願減る
出願減る
出願減る

電話賣物
極く格安の電話賣物あり
姓名在社

忘新年會
お勉め御用
すまひ願
廣二四電

植田町本町
前田醫院
入院隨時 電一二四番

特賣
名人武の園一斤
金壹圓六十錢 貳十錢値下
御徳用 保内園一斤
金壹圓也 十錢値下
其他本場山銘茶菓子類も廉價
提供仕候
平三町目 たけや茶舗

藤沼醫院
平町 電話 五〇七番

昭覺院
本日葬送の際には遠路
の御寄附を被成下珠に御厚禮な
る御香奠を辱ふし有難御厚禮申
上候實は早速拜趨禮可申上の
處混雜中に付乍奉儀紙上御禮
迄如斯御座候
十二月十九日
根本品藏
外親戚一同